

2024年3月期第3四半期決算の概要

2024年2月8日
東レ株式会社

I. 2024年3月期第3四半期決算の概要	2
II. 2024年3月期連結業績見通し	16
III. 参考資料	20

I

2024年3月期第3四半期決算の概要

2024年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	23年3月期 第3四半期 (10~12月)	24年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	6,400	6,300	-100 (-1.6%)	19,018	18,294	-724 (-3.8%)
事業利益	260	285	+25 (+9.6%)	804	772	-33 (-4.0%)
(売上収益事業利益率)	4.1%	4.5%	+0.5 ポイント	4.2%	4.2%	-0.0 ポイント
非経常項目	▲11	▲16	-4	182	▲58	-240
金融収益及び費用	▲35	▲16	+19	▲19	▲40	-21
持分法による投資利益	27	20	-7	122	89	-33
税引前四半期利益	240	273	+33 (+13.7%)	1,090	763	-327 (-30.0%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	154	168	+14 (+8.7%)	746	457	-289 (-38.8%)

<為替レート>

	23年3月期 第3四半期 (10~12月)	24年3月期 第3四半期 (10~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)
円/US\$ 期中平均	141.6	147.9	136.5	143.3
	132.7	141.8		
円/ユーロ 期中平均	144.3	159.1	140.6	155.3
	141.5	157.1		

非経常項目

億円

	23年3月期 第3四半期 (10~12月)	24年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
固定資産売却益	1	4	+3	3	11	+9
子会社の支配喪失に伴う利益*1	-	-	-	251	-	-251
固定資産処分損	▲ 12	▲ 19	-7	▲ 26	▲ 45	-19
減損損失	▲ 0	▲ 1	-0	▲ 11	▲ 6	+5
製品保証費用*2	-	-	-	▲ 35	▲ 18	+16
その他	-	-	-	0	-	-0
非経常項目	▲ 11	▲ 16	-4	182	▲ 58	-240

*1 ハンガリーのリチウムイオン二次電池用バッテリーセパレータフィルム製造・販売会社 Toray Industries Hungary Kft. に対して、LG Chem, Ltd. が新たに出資をし、合併会社 LG Toray Hungary Battery Separator Kft. を設立したことによる投資の再評価益。

*2 「炭素繊維複合材料事業」において当社が過去に製造・販売した一般産業用途の一部製品のうち、不具合の可能性のあるものについて、その交換、補修等のために必要な費用。

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	23年3月末	23年12月末	増減
資産合計	31,940	33,884	+1,943
流動資産	14,293	15,334	+1,041
有形固定資産	10,078	10,470	+392
その他	7,569	8,080	+510
負債合計	15,582	16,256	+674
流動負債	8,262	8,896	+634
非流動負債	7,320	7,360	+40
資本合計	16,358	17,628	+1,270
自己資本*	15,350	16,559	+1,209
自己資本比率*	48.1%	48.9%	+0.8ポイント
有利子負債残高	9,501	9,981	+480
D/Eレシオ	0.62	0.60	-0.02

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	207	1,062	+855
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 699	▲ 869	-170
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 492	193	+685

*自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
設備投資額	683	950	+266
東レ	178	189	+11
連結子会社	506	761	+255
減価償却費	977	990	+13
東レ	261	252	-9
連結子会社	715	737	+22
研究開発費	494	502	+8
東レ	354	349	-6
連結子会社	140	153	+13

主な設備投資案件

東レ株式会社	: スエード調人工皮革生産設備
Toray Advanced Materials Korea Inc.	: PPS樹脂生産設備、炭素繊維生産設備
Zoltek Companies, Inc.	: 炭素繊維生産設備
Toray Composite Materials America, Inc.	: 炭素繊維生産設備
Toray Carbon Fibers Europe S.A.	: 炭素繊維生産設備

セグメント別売上収益・事業利益、事業利益増減要因分析

億円

		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
売上 収益	繊維	7,848	7,454	-394	(-5.0%)
	機能化成品	6,983	6,596	-387	(-5.5%)
	炭素繊維複合材料	2,112	2,093	-19	(-0.9%)
	環境・エンジニアリング	1,562	1,650	+89	(+5.7%)
	ライセンス	402	384	-18	(-4.5%)
	その他	112	117	+5	(+4.6%)
	合計	19,018	18,294	-724	(-3.8%)
事業 利益	繊維	396	438	+42	(+10.7%)
	機能化成品	300	243	-56	(-18.8%)
	炭素繊維複合材料	118	114	-4	(-3.7%)
	環境・エンジニアリング	129	146	+17	(+13.4%)
	ライセンス	6	▲ 8	-14	(-)
	その他	11	17	+6	(+49.0%)
	調整額	▲ 155	▲ 178	-23	
	合計	804	772	-33	(-4.0%)

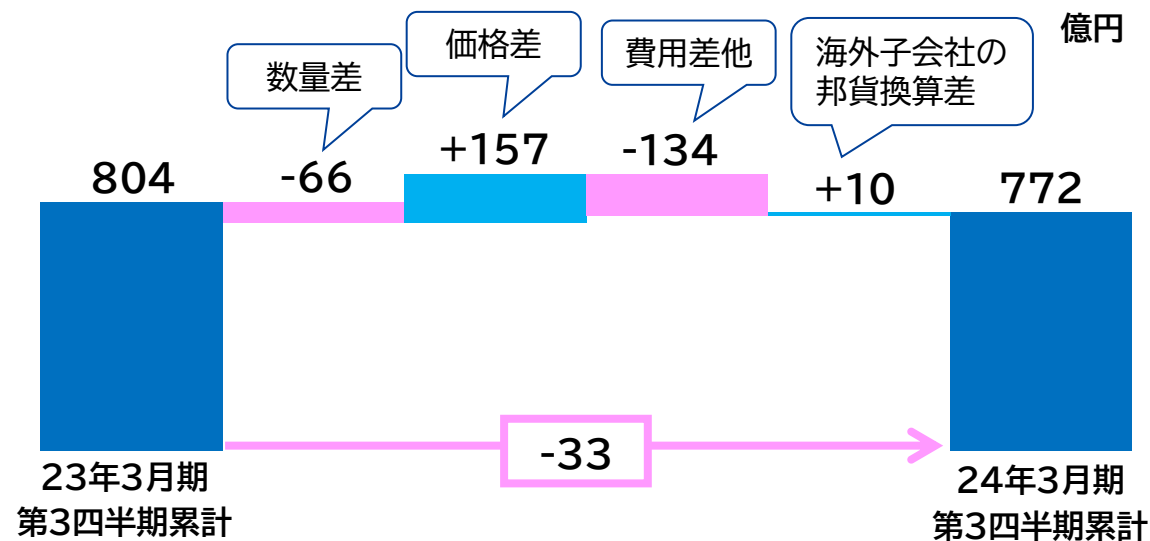
< 24年3月期 第3四半期累計 連結業績実績 >

繊維、環境・エンジニアリングセグメントが堅調に推移。

機能化成品セグメントは、フィルム事業で電子部品関連においてサプライチェーンの在庫調整の影響が残り、低調に推移。

炭素繊維複合材料セグメントは、航空宇宙用途は順調に回復しているが、風力発電翼用途が調整局面となったほか、圧力容器を含む一般産業用途の需要が軟化した。

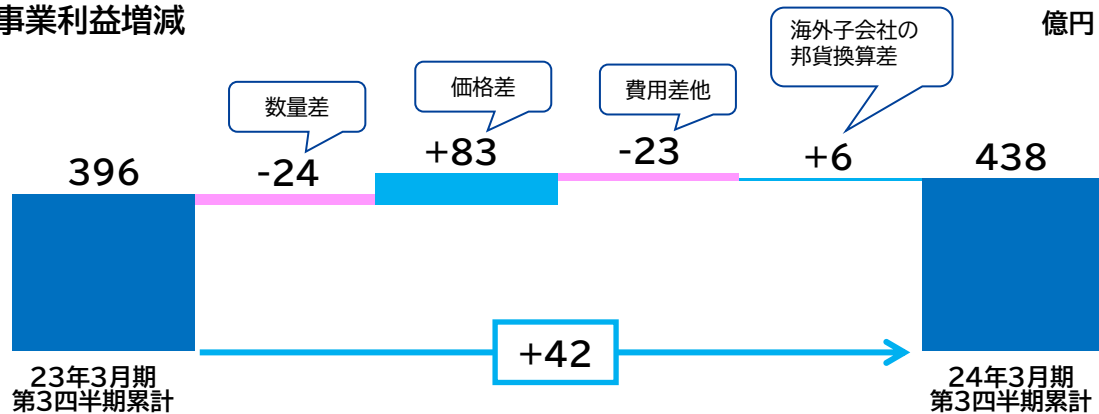
これらの結果、全社事業利益は772億円となり、前年同期比4.0%の減益となった。



セグメント別業績(繊維)

		億円		
		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,593	1,597	+4 (+0.2%)
	国内	3,998	3,671	-326 (-8.2%)
	海外	5,290	4,975	-314 (-5.9%)
	修正	▲ 3,032	▲ 2,789	+243
	計	7,848	7,454	-394 (-5.0%)
事業利益	東レ	128	108	-20 (-15.6%)
	国内	87	126	+39 (+44.9%)
	海外	185	204	+19 (+10.0%)
	修正	▲ 5	0	+5
	計	396	438	+42 (+10.7%)

事業利益増減



< 概況 >

■ 全般

衣料用途が欧米の市況悪化、衛材用途が需給バランス悪化の影響を受けて低調に推移した。産業用途は自動車用途の需要回復、EV向け拡大から回復傾向が続いた。

<トピックス>

- 23年11月:
優れた水滴除去性*1をPFASフリー(フッ素を使用しない)で実現した撥水ストレッチテキスタイルDEWEIGHT™を開発。2025年春夏シーズン向けからメンズ・レディス向けにアウターからボトムスまでの展開を予定しており、2025年度 20万m、2027年度 50万mの販売を目指す。

*1: 生地構造により、表面についた水滴が滑らかに転がる優れた撥水性能。

- 23年12月:
株式会社吉田が製造・販売するバッグ ポーター®*2の代表シリーズであるタンカー®*2において、100%植物由来*3のナイロン繊維エコディア®N510で共創・協業の取り組みを開始。また、裏地には、回収漁網等を再資源化した当社のケミカルリサイクルナイロン素材が採用。2024年春以降に、順次店頭で販売開始予定。

*2: ポーター®、タンカー®は(株)吉田の登録商標です。

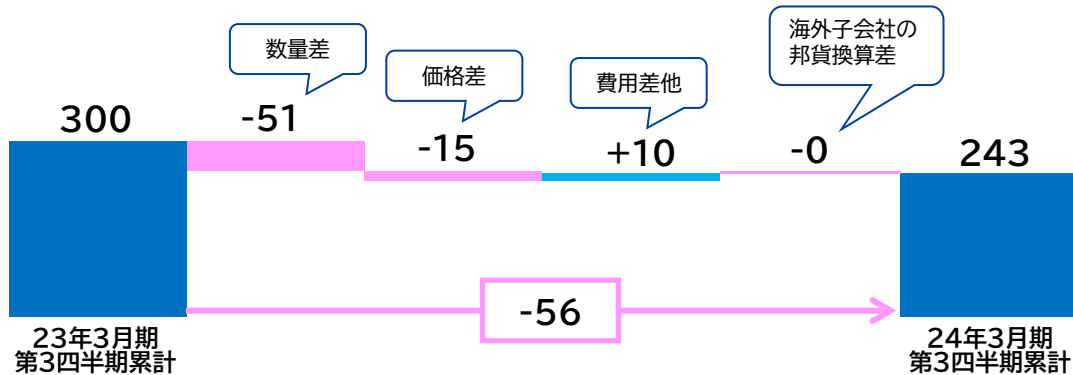
*3: ISO16620-1 3.1.5 biobased synthetic polymer content(植物由来割合)が100%。

セグメント別業績(機能化成品)

		億円		
		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,952	1,750	-201 (-10.3%)
	国内	4,115	3,641	-473 (-11.5%)
	海外	4,282	4,320	+38 (+0.9%)
	修正	▲ 3,366	▲ 3,115	+251
	計	6,983	6,596	-387 (-5.5%)
事業利益	東レ	104	23	-81 (-77.8%)
	国内	180	170	-10 (-5.6%)
	海外	5	47	+42 (+764.8%)
	修正	10	3	-7
	計	300	243	-56 (-18.8%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

- 樹脂事業
中国市場の需要減少等の影響により低調だったが、国内自動車用途において改善傾向が見られた。
- フィルム事業
電子部品関連において、サプライチェーンの在庫調整の影響が残った。
- 電子情報材料事業
有機EL関連材料・回路材料の需要に回復が見られた。

<トピックス>

- 23年10月:
ガラス繊維強化PPS樹脂をリサイクルしてもバージン材の初期性能を維持することが可能な新技術を開発。本技術により、リサイクル材を50%以上使用した場合でも、バージン材100%品と同等の機械強度を発現できることを実証。また、リサイクル材使用率50%の場合、CO₂排出量を40%以上削減することが可能となる。
- 23年11月:
業界初となる完全水現像の製版方式*1および、高精細な印刷品質を実現するフレキシ版*2を開発。新ブランドRESOLUCIA™として、24年1月から販売を開始。
*1: 印刷版の現像に有機溶剤や添加剤を使わず、常温の水道水のみを使用する方式。
*2: 版の素材に樹脂やゴムを使用した凸版印刷方式の一種。

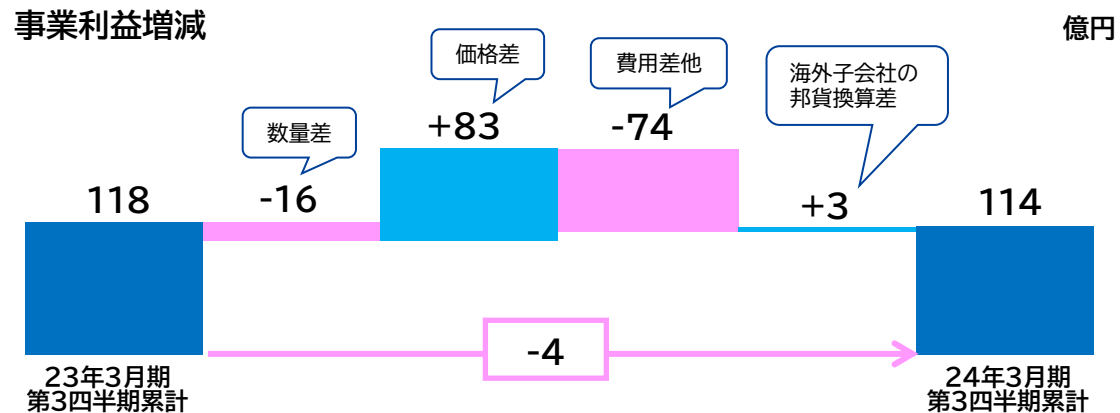
機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	3,200	31%	2,924	30%	-9%
フィルム	2,461	24%	2,415	25%	-2%
電子情報材料	423	4%	482	5%	+14%
商事他	4,264	41%	3,890	40%	-9%
修正	▲ 3,366	-	▲ 3,115	-	-
合計	6,983		6,596		-6%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

		億円		
		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	657	686	+29 (+4.4%)
	国内	523	498	-26 (-5.0%)
	海外	1,922	1,999	+77 (+4.0%)
	修正	▲ 990	▲ 1,090	-99
	計	2,112	2,093	-19 (-0.9%)
事業利益	東レ	104	127	+24 (+22.9%)
	国内	11	8	-3 (-28.7%)
	海外	45	31	-14 (-31.0%)
	修正	▲ 41	▲ 52	-11
	計	118	114	-4 (-3.7%)



< 概況 >

■ 全般

航空宇宙用途は順調に回復しているが、風力発電翼用途が調整局面となったほか、圧力容器を含む一般産業用途の需要が軟化した。

<トピックス>

- 23年10月:
Toray Carbon Fibers Europe S.A. において、レギュラートウの中・高弾性率炭素繊維の生産設備増強を決定。現行の年産5千トンから6千トンに増強する計画であり、生産開始は2025年を予定。ビルドレートが回復する民間航空機の二次構造材やエンジン、ウラン濃縮回転胴、衛星用途、高級自動車等の用途に使用される中・高弾性率炭素繊維の需要が拡大する見込みであり、これらの需要拡大に対応する。
- 23年10月:
世界最高強度を更新する新世代の超高強度炭素繊維トレカ®T1200を開発。高強度炭素繊維への市場要請に応えるため、独自のナノスケールでの構造制御技術をさらに発展させ、破壊が起こりにくい内部構造を設計、実現。スポーツ・レジャー用品から航空機用途まで幅広く展開していく。

炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	415	20%	627	30%	+51%
スポーツ	294	14%	204	10%	-31%
一般産業	1,403	66%	1,262	60%	-10%
合計	2,112		2,093		-1%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減	
売上収益	東レ	270	277	+8	(+2.9%)		
	国内	1,508	1,639	+132	(+8.7%)		
	海外	468	515	+47	(+10.0%)		
	修正	▲ 684	▲ 782	-98			
	計	1,562	1,650	+89	(+5.7%)		
事業利益	東レ	21	30	+9	(+41.5%)		
	国内	45	48	+3	(+7.1%)		
	海外	65	64	-1	(-2.0%)		
	修正	▲ 3	4	+7			
	計	129	146	+17	(+13.4%)		

億円

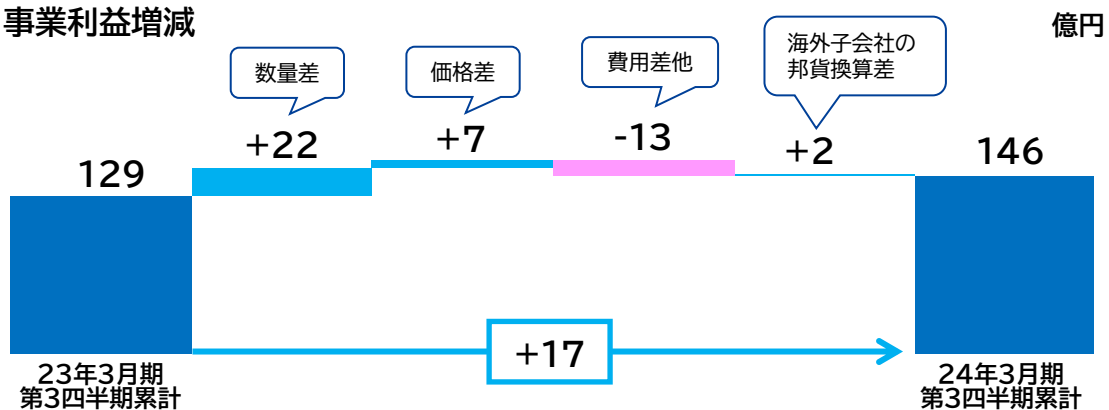
<概況>

- 水処理事業
逆浸透膜の2大市場である米中での出荷が堅調に推移した。
- 国内子会社
建設子会社の売上が堅調に推移した。

<トピックス>

- 23年10月:
Toray Industries (India) Private Limitedに新設したエアフィルター拠点において、低圧損・高捕集効率・高性能に優れた、空気清浄機・自動車・エアコン・空調用のエアフィルター製品の生産を開始。インド国内では、大気汚染の深刻化、環境対応強化の意識の高まりから、さらなる空気浄化ニーズの高まりとともに、高性能・高品質エアフィルターの需要が増加するとみており、現地ニーズを迅速に把握し製品開発に生かすことで、要求特性の高度化にスピーディーに対応していく。

事業利益増減

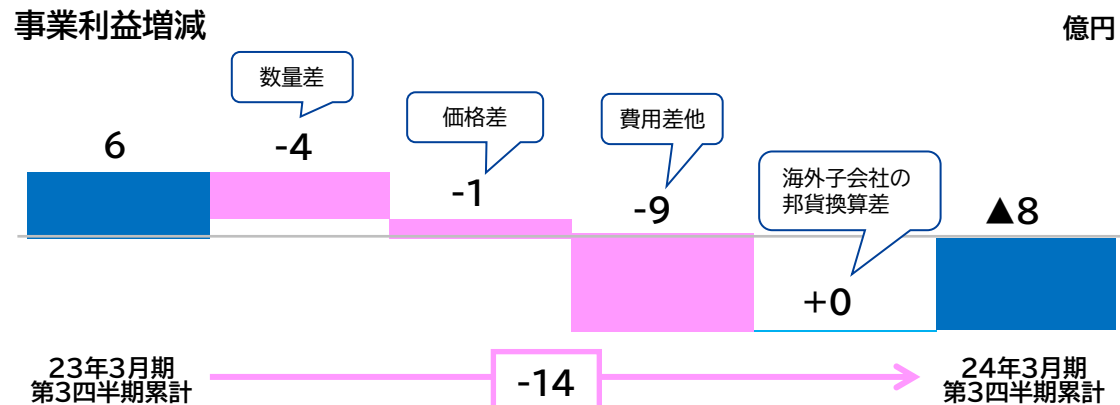


億円

セグメント別業績(ライフサイエンス)

		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減	
売上収益	東レ	183	183	-1	(-0.3%)		
	国内	318	312	-6	(-1.8%)		
	海外	127	112	-15	(-11.8%)		
	修正	▲ 226	▲ 223	+3			
	計	402	384	-18	(-4.5%)		
事業利益	東レ	▲ 17	▲ 18	-1	(-)		
	国内	14	6	-7	(-53.1%)		
	海外	7	5	-2	(-27.3%)		
	修正	3	▲ 1	-4			
	計	6	▲ 8	-14	(-)		

億円



< 概況 >

- 医薬事業**
 経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響と薬価改定の影響を受けたほか、経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー®が海外で在庫調整の影響を受けた。
*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。
- 医療機器事業**
 原燃料価格高騰の影響を受けたが、血液透析ろ過用ダイアライザーの出荷が国内で堅調に推移した。

<トピックス>

- 23年11月:
 血液中の病因タンパク質を高効率に吸着するポリメチルメタクリレート(PMMA)多孔質繊維カラムについて、一般社団法人 日本人工臓器学会「2023年度日本人工臓器学会技術賞」を受賞。
- 23年12月:
 エンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器トレミキシン®について、「既存治療が奏功しない特発性肺線維症の急性増悪」に対する適応追加の承認を、厚生労働省より取得。

主要子会社・地域の収益状況

億円

		売上収益			事業利益		
		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	24年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
東レインターナショナル		5,043	4,457	-586	109	104	-5
東レエンジニアリング		803	881	+79	33	31	-3
東レ建設		215	275	+60	▲ 7	8	+15
東レフィルム加工		307	282	-26	23	13	-10
在東南アジア・子会社	繊維	1,298	1,176	-122	19	13	-6
	機能化成品	812	697	-115	▲ 23	▲ 1	+22
	その他	6	7	+1	1	0	-0
	計	2,116	1,880	-236	▲ 3	12	+16
在中国・子会社	繊維	2,357	2,203	-154	167	200	+32
	機能化成品	856	825	-31	72	64	-7
	その他	408	363	-45	37	36	-1
	計	3,621	3,390	-231	276	301	+24
在韩国・子会社	繊維	815	750	-66	▲ 17	▲ 25	-8
	機能化成品	1,013	1,218	+206	▲ 23	22	+46
	その他	306	266	-40	51	29	-22
	計	2,134	2,234	+101	11	27	+16

Ⅱ

2024年3月期連結業績見通し

2024年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

世界経済は、欧米での高金利による個人消費や設備投資の意欲低下、中国経済の足踏みにより、回復ペースは緩やかなものに留まると見られる。国内経済も緩やかな回復が見込まれる。ただし、中国での不動産不況の長期化、食料やエネルギーなど一次産品価格の不安定、そして欧米での利下げ開始時期の遅れによる消費減速、日銀の金融政策変更による為替変動等が内外経済の下振れ材料として挙げられる。

						億円	
		23年3月期 実績	24年3月期 見通し	増減		11月8日公表値	11月8日公表値 との差異
売上収益	上期	12,618	11,994	-624	(-4.9%)	11,994	-
	下期	12,275	12,706	+431	(+3.5%)	13,406	-700
	通期	24,893	24,700	-193	(-0.8%)	25,400	-700
事業利益	上期	544	487	-58	(-10.6%)	487	-
	下期	416	563	+147	(+35.4%)	713	-150
	通期	960	1,050	+90	(+9.3%)	1,200	-150
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	591	289	-302	(-51.2%)	289	-
	下期	137	291	+154	(+112.5%)	421	-130
	通期	728	580	-148	(-20.4%)	710	-130
基本的1株当たり 当期利益	上期	36.92円	18.03円	為替レート的前提 (1月以降) 140円/US\$			
	下期	8.56円	18.19円				
	通期	45.49円	36.22円				
1株当たり配当金	上期	9.00円	9.00円				
	下期	9.00円	9.00円				
	通期	18.00円	18.00円				
配当性向	通期	40%	50%				

セグメント別連結業績見通し

億円

		23年3月期実績			24年3月期見通し			増減			11月8日公表値との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	5,090	4,902	9,992	4,812	4,908	9,720	-278	+6	-272	-	-170	-170
	機能化成品	4,733	4,361	9,094	4,331	4,559	8,890	-402	+198	-204	-	-400	-400
	炭素繊維複合材料	1,400	1,417	2,817	1,411	1,489	2,900	+12	+71	+83	-	-120	-120
	環境・エンジニアリング	1,061	1,228	2,288	1,115	1,365	2,480	+55	+137	+192	-	-	-
	ライセンス	259	279	538	248	292	540	-11	+13	+2	-	-10	-10
	その他	75	89	164	76	94	170	+0	+5	+6	-	-	-
	合計	12,618	12,275	24,893	11,994	12,706	24,700	-624	+431	-193	-	-700	-700
事業利益	繊維	239	274	512	272	283	555	+33	+9	+43	-	-40	-40
	機能化成品	251	53	304	145	220	365	-106	+167	+61	-	-45	-45
	炭素繊維複合材料	56	103	159	76	69	145	+20	-34	-14	-	-60	-60
	環境・エンジニアリング	83	115	197	102	143	245	+19	+29	+48	-	-5	-5
	ライセンス	3	▲ 2	2	▲ 5	5	0	-9	+7	-2	-	-	-
	その他	10	15	25	8	17	25	-2	+2	-0	-	-	-
	調整額	▲ 98	▲ 141	▲ 239	▲ 111	▲ 174	▲ 285	-13	-32	-46	-	-	-
	合計	544	416	960	487	563	1,050	-58	+147	+90	-	-150	-150

セグメント別事業利益の11月8日公表値との差異

セグメント	通期事業利益(億円) 11/8公表値→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	595 → 555 (-40)	<ul style="list-style-type: none"> 衣料用途は、欧州、中国等の市況悪化を背景に、原糸原綿を中心に販売減少を見込む。 産業用途は、自動車用途はエアバッグ基布が堅調に推移するも、人工皮革はEVの競争激化により一部の採用車種で計画比下振れを見込む。
機能化成品	410 → 365 (-45)	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂事業では、中国内需低迷が続くが、固定費削減等により収益が改善する見通し。 フィルム事業では、PETフィルムで主要顧客の在庫調整が完了し、販売・稼働が回復するも、その回復は想定よりも緩やかなものとなる見込み。また、欧米子会社は市況悪化が想定以上に長引く見通し。 電子情報材料事業は、韓国子会社の回路材料で、パネルメーカーの稼働率低下の影響を受ける見通し。
炭素繊維 複合材料	205 → 145 (-60)	<ul style="list-style-type: none"> 航空機用途の販売前提に大きな変化はないが、他用途での中国・アジア市場での需要減少が著しく、加えて、上期まで好調に推移した欧米市場の需要軟化の影響を受ける見通し。 ラージトウは、風力発電翼需要の停滞の影響を想定よりも受ける見通し。
環境・ エンジニアリング	250 → 245 (-5)	<ul style="list-style-type: none"> 水処理事業は、米国向けや中東の大型海淡案件向け産業用RO膜出荷が堅調に推移するものの、中国向け家庭用RO膜の販売が想定を下回る見通し。
ライフサイエンス	0 → 0 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> 前回見通し通り。
その他	25 → 25 (±0)	
調整額	▲285 → ▲285 (±0)	
合計	1,200 → 1,050 (-150)	

III

參考資料

セグメント別四半期推移

億円

		23年3月期					24年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
売上収益	繊維	2,258	2,832	2,757	2,144	9,992	2,238	2,574	2,642
	機能化成品	2,450	2,283	2,250	2,111	9,094	2,148	2,183	2,265
	炭素繊維複合材料	686	714	712	705	2,817	687	724	682
	環境・エンジニアリング	507	553	501	727	2,288	560	556	535
	ライフサイエンス	123	136	143	136	538	113	135	136
	その他	34	41	36	53	164	34	42	41
	合計	6,059	6,559	6,400	5,875	24,893	5,781	6,213	6,300
事業利益	繊維	87	152	157	116	512	109	163	166
	機能化成品	169	82	49	4	304	74	71	98
	炭素繊維複合材料	24	32	62	41	159	27	49	38
	環境・エンジニアリング	35	48	46	69	197	62	40	44
	ライフサイエンス	1	3	2	▲ 4	2	▲ 5	▲ 1	▲ 3
	その他	4	7	1	14	25	4	4	9
	調整額	▲ 48	▲ 50	▲ 57	▲ 84	▲ 239	▲ 52	▲ 59	▲ 67
	合計	271	273	260	156	960	219	268	285

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	23年3月期					24年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
樹脂・ケミカル	1,087	1,036	1,077	995	4,195	938	958	1,029
フィルム	886	816	760	753	3,215	794	812	810
電子情報材料	158	131	134	129	552	156	157	170
商事他	1,503	1,404	1,357	1,207	5,471	1,311	1,225	1,354
修正	▲ 1,184	▲ 1,105	▲ 1,077	▲ 973	▲ 4,338	▲ 1,050	▲ 969	▲ 1,097
合計	2,450	2,283	2,250	2,111	9,094	2,148	2,183	2,265

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	23年3月期					24年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
航空宇宙	124	133	158	170	585	178	217	232
スポーツ	95	102	97	81	376	68	67	70
一般産業	468	478	457	454	1,857	442	440	379
合計	686	714	712	705	2,817	687	724	682

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

		23年3月期					24年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		1,506	1,759	1,778	1,385	6,427	1,364	1,486	1,606
東レエンジニアリング		238	293	272	349	1,151	271	304	307
東レ建設		74	73	69	186	401	103	89	82
東レフィルム加工		104	101	103	95	403	91	93	98
在東南アジア・ 子会社	繊維	404	464	430	376	1,674	357	409	410
	機能化成品	291	253	268	246	1,058	224	228	245
	その他	2	2	2	2	8	3	2	2
	計	696	719	701	623	2,739	584	640	657
在中国・ 子会社	繊維	641	913	803	479	2,835	645	773	785
	機能化成品	302	267	287	261	1,117	253	273	298
	その他	134	139	135	107	515	118	123	122
	計	1,077	1,320	1,225	847	4,468	1,016	1,169	1,205
在韩国・ 子会社	繊維	278	277	261	256	1,071	253	249	248
	機能化成品	381	321	311	329	1,342	397	421	400
	その他	104	106	96	103	409	88	89	90
	計	762	704	668	688	2,822	738	758	738

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

		23年3月期					24年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		29	39	40	25	134	28	40	35
東レエンジニアリング		8	13	13	18	51	8	11	12
東レ建設		▲ 3	▲ 2	▲ 2	20	13	9	▲ 0	▲ 1
東レフィルム加工		11	6	6	4	27	4	2	7
在東南アジア・ 子会社	繊維	4	14	2	1	21	▲ 5	6	12
	機能化成品	7	▲ 21	▲ 10	▲ 5	▲ 28	▲ 5	▲ 3	7
	その他	0	0	0	▲ 0	0	0	▲ 0	0
	計	11	▲ 7	▲ 8	▲ 4	▲ 7	▲ 9	3	19
在中国・ 子会社	繊維	44	66	57	33	201	46	75	79
	機能化成品	24	25	22	17	88	19	20	26
	その他	15	12	10	6	43	15	11	10
	計	84	103	90	56	332	79	106	116
在韩国・ 子会社	繊維	▲ 6	▲ 4	▲ 8	▲ 6	▲ 23	▲ 0	▲ 11	▲ 13
	機能化成品	14	▲ 13	▲ 25	▲ 28	▲ 51	12	4	6
	その他	17	19	15	13	64	13	9	8
	計	26	2	▲ 18	▲ 20	▲ 10	24	2	1

ESGに関する社外からの評価

■ CDP

2022年12月



Water Security:A
Climate Change:A-

■ MSCI

2023年5月

MSCI
ESG RATINGS



■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2024年2月

Toray Industries, Inc.
Chemicals

Sustainability
Yearbook Member

S&P Global Corporate Sustainability
Assessment (CSA) Score 2023

S&P Global CSA Score 2023: 43/100
Score date: February 7, 2024
The S&P Global Corporate Sustainability Assessment (CSA) Score is the S&P
Global ESG Score without the inclusion of any modeling approaches.
Position and scores are industry specific and reflect exclusion screening criteria.
Learn more at <https://www.spglobal.com/esg/yearbook/methodology>

S&P Global



■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

Member of

Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

2023年12月

「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」の
Asia/Pacific Index



2023年9月

「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2023年6月

「FTSE4Good Index Series」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

※1 東レ(株)のMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社(「MSCI」)のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる東レ(株)の後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの財産であり、「現状有姿」にて提供され保証はありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。
※2 東レ(株)がMSCIインデックスに含まれること、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による東レ(株)への後援、宣伝、販売促進には該当しません。MSCIの独占的所有権であるMSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry